

このたび、2021 年 9 月 11 日に、秋季大会と総会を開催いたしました。新型コロナ禍がなお収束しない中でも、シンポジウムは予定していたハイフレックス方式を無観客で敢行し、他のプログラムはオンラインで開催いたしました。まさに異例の大会運営となりましたが、会員の皆様のご協力により、滞りなく終えることができました。改めてお礼申し上げます。

なお、再三ご協力をお願いしております会費納入の件ですが、以下に記すような事情により、この時期にはとくにご協力を仰がねばなりません。皆様の目に留まるように、会報の冒頭に記させていただきます。

また、総会でのとくに重要な決議として、次号の 27 号からの学会誌電子化案が承認されたことをご報告しておきます。これによって、学会財政を圧迫していた学会誌関係予算を半額近く削減でき、会計を正常化することができます。それだけではなく、電子ジャーナルという媒体ならではの新たな可能性を開くことができると考えています。今後、新形態への移行を着実に進めるための準備を進めていきます。ご理解とご協力の程、改めてお願い申し上げます。

#### ☆ 会費の納入について

このたびの大会では、通常とは異なり、来場者から受付で年会費を徴収することができませんでした。他方、本学会の会計支出において大きな割合を占める学会誌関係の支払いは、9 月に行わねばなりません。そのため、この支払い後の学会会計は、順調に会費の徴収ができないと、手持ち金の枯渇の危機に瀕することになります。つきましては、学会誌に同封する振替用紙にて、会費納入（年会費 4000 円）をただちにお済ませくださいますよう、お願い申し上げます。振込先は以下の通りです（郵便局備え付けの用紙にこれを記入し、振り込んでいただいても結構です）。

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046

加入者名：日仏哲学会

## ☆ 総会での審議・議決事項について

総会での審議・議決事項は以下の通りです。

- 1) 昨年度決算、今年度予算について、下記（別紙資料 1）の通り承認された。
- 2) 今年度の事業計画について、下記（別紙資料 2）の通り承認された。  
(昨年度の事業報告については、機関誌第 26 号に掲載)
- 3) 第 8 回日仏哲学会若手研究者奨励賞が、山野弘樹氏（論文「歴史とフィクションはどこで交叉するのかーリクール『時間と物語』における「歴史記述」論の批判的再読解ー」）に授与され、表彰式が行われた。
- 4) 2020 年 9 月の総会での提案以来進めてきた学会誌電子化の実現に向けての検討をもとに、(1)次号の 27 号（2022 年 9 月刊行）から学会誌を電子ジャーナル化し、J-Stage で公開すること、(2)ただしさまざまな用途（国会図書館や主要大学への納本、学会での保管、執筆者への送付用）のために冊子体でも 100 部程度製作すること、(3)編集委員会とは別に電子ジャーナル担当委員会（仮称）を設け、現学会誌電子化 WG のメンバーなどがその任に当たること、が理事会から提案され、承認された。

## ☆ 機関誌への投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募される方は、本年 12 月 31 日までに、下記投稿規定中の編集委員長の e-mail アドレス宛に、PDF ファイルにて完成原稿をお送りください。

『フランス哲学・思想研究』公募論文投稿規定（投稿規定は HP からご覧いただけます）

1. テーマ:フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの。
2. 応募資格:日仏哲学会会員（ただし機関誌最新号に公募論文が掲載された者は次号には応募できない）。
3. 応募原稿の形式:ワープロソフトによる完全原稿の PDF。和文・仏文を問わず、1 行全角 43 字（半角 86 字）の設定で横書き、タイトル、著者名、注も含めて 370 行以内。

注はワープロソフトの脚注機能は使用せず、本文の該当箇所に通し番号 1)、2)、……をつけ、本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジュメ（上記設定でタイトルと著者名も含め 12 行以内）を本文とは別のページに付すこと。氏名、住所、

電話番号、E-mail アドレス、生年月日（若手研究者奨励賞対象者確認のため）を記した応募者情報を、別紙の PDF として添付すること。

4. 原稿作成上の注意:欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。  
また仏語レジュメは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。
5. 原稿応募期間:2021年 12月 1日～31日、件名を「フランス哲学思想研究公募論文」としたメールに原稿等のファイル(本文・仏語レジュメ・応募者情報)の PDF を添付し、編集委員長宛に送付すること。
6. 原稿送付先: 編集委員長宛。

(編集委員長) 合田正人: 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 明治大学文学部

E-mail: [mg1957@meiji.ac.jp](mailto:mg1957@meiji.ac.jp)

審査:掲載の可否は編集委員会で決定し通知する。掲載決定の場合、応募者は指示された期日までに、原稿(論文及び欧文レジュメ)の電子ファイル(PDFではなく、Microsoft Word バージョン 2000 以上で作成したもの、それ以外の場合は要相談)を添付ファイルとして、メールで編集委員長宛に送付すること。

## ☆ 書評対象作の推薦について

機関誌『フランス思想・哲学研究』掲載の書評対象作について、会員の皆様からの推薦を受け付けます。締切は2022年1月15日、編集委員長までご連絡下さい。なお、編集委員会で、「書評対象作選定の基準」を以下のように定めています。

- ・書評対象作は、編集委員会において、会費納入済みの会員が前年度に出版した著作の網羅的リストをもとに厳正かつ公正な手続きにより決定する。
- ・書評対象として、前年度1年間に発行された著作を取り上げるが、それ以前の著作でも漏れていたものを取り上げることは可とする。
- ・会員によるものであっても翻訳書は原則対象外とする。
- ・書評対象作のリストアップのため、会員よりの自薦・他薦を受け付ける。  
(自薦の場合は、著書を編集委員長宛に送付することが望ましい。)

## ☆ 春季大会への一般発表の申し込みについて

2022年春季大会は3月19日(土)に早稲田大学(早稲田キャンパス)で開催されます。一般研究発表を公募いたします。発表時間は25分(15分の質疑応答付き)です。

発表希望者は2021年12月31日までに、日本語の場合は1200字以内、フランス語の場合は300mots以内（いずれもタイトル、発表者名、改行に伴う空白を含む）の発表要旨（Microsoft Wordバージョン2000以上で作成したもの）を事務局までメールで送付してください。

なおその際には、「応募メールを送った」旨を伝える簡単なく確認メールも別途同時に事務局までお送りください。採否は1月末日までに決定いたします。

★ 会員の皆様へのお知らせとお願い

1. 会費納入のお願い

本会報の冒頭に記しました通り、年会費(4000円)の遅滞なき納入をお願いいたします。  
(なお、3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。)

2. メールアドレスご登録のお願い

メールアドレスをご登録いただいている皆様には、「会報」をメール添付でお送りしておりますが、まだ「会報」を郵便でお受け取りいただいている、メール送付に切り替えていただける方は、下記事務局までご一報下さい。今回のようにオンライン大会になりますと、どうしてもメールでの一斉連絡が必要になります。ぜひご登録下さいますようお願いいたします。

【日仏哲学会事務局】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: [secretariat@sfjp-web.net](mailto:secretariat@sfjp-web.net)

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会

## 【資料1】2020年度決算、2021年度予算について

### 2020年度（2020年9月1日～2021年8月31日）

#### 2020年度予算

|        |             |
|--------|-------------|
| 収入     |             |
| 会員会費   | 1,500,000   |
| 雑収入    | 50,000      |
| （単年度収入 | 1,550,000）  |
| 前年度繰越金 | 1,085,443   |
| 計）     | 2,635,443 円 |

|          |             |
|----------|-------------|
| 支出       |             |
| 大会費      | 200,000     |
| 事務局費     | 460,000     |
| 通信費・送料   | 160,000     |
| 機関誌刊行費   | 700,000     |
| 若手研究者奨励賞 | 30,000      |
| （単年度支出   | 1,550,000）  |
| 次年度繰越金   | 1,083,443   |
| 計）       | 2,635,443 円 |

#### 2020年度決算

|         |             |
|---------|-------------|
| 収入      |             |
| 会員会費    | 1,670,040   |
| 雑収入（注1） | 22,900      |
| （単年度収入  | 1,692,900）  |
| 前年度繰越金  | 1,085,443   |
| 計）      | 2,778,343 円 |

（注1）雑収入内訳  
機関誌売上 22,900 円

|          |             |
|----------|-------------|
| 支出       |             |
| 大会費      | 129,420     |
| 事務局費     | 336,857     |
| 通信費・送料   | 137,213     |
| 機関紙刊行費   | 687,420     |
| 若手研究者奨励賞 | 30,000      |
| 雑支出      | 1,760       |
| （単年度支出   | 1,322,670）  |
| 次年度繰越金   | 1,455,673   |
| 計）       | 2,778,343 円 |

繰越金内訳  
振替貯金 1,414,294 円  
現金 41,379 円

### 2) 2021年度（2021年9月1日～2022年8月31日）予算

#### 2020年度予算

|        |             |
|--------|-------------|
| 収入     |             |
| 会員会費   | 1,500,000   |
| 雑収入    | 50,000      |
| （単年度収入 | 1,550,000）  |
| 前年度繰越金 | 1,455,673   |
| 計）     | 3,005,673 円 |

|          |             |
|----------|-------------|
| 支出       |             |
| 大会費      | 100,000     |
| 事務局費     | 460,000     |
| 通信費・送料   | 100,000     |
| 機関誌刊行費   | 978,780     |
| 若手研究者奨励賞 | 30,000      |
| （単年度支出   | 1,668,780）  |
| 次年度繰越金   | 1,336,893   |
| 計）       | 3,005,673 円 |

## 【資料 2】 2021 年度事業計画

- ① 2021年 9 月 11日(土) 秋季研究大会  
(シンポジウムのみ無観客ハイフレックス開催・その他はオンライン開催)
- ・一般研究発表:8名
  - ・総会
  - ・シンポジウム:哲学者の講義録を読む  
司会者: 西山雄二(東京都立大学)  
提題者: 藤田尚志、酒井麻依子、八幡恵一、西川耕平、西山雄二
  - ・2021年 9 月 10日(金) 提案型ワークショップ「カトリーヌ・マラブーの哲学」(オンライン)  
主催: 脱構築研究会/後援: 東京大学「共生のための国際哲学研究センター」(UTCP)/助成:  
東京都立大学  
講演者: カトリーヌ・マラブー(Catherine Malabou)  
司会者: 西山雄二  
コメンテーター: 郷原佳以、中村彩  
共同討論: 鶴飼哲、増田一夫、星野太、佐藤朋子、藤本一勇、宮崎裕助、小川歩人
  - ・2021年 9 月 12日(日) 共催イベント「デジャヴュと記憶—ベルクソンと現代記憶哲学」(オンライン)  
主催: PBJ(Projet Bergson au Japon) +ベルクソン哲学研究会  
提題者: ドニ・ペラン(Denis Perrin)  
応答者: 原健一、平井靖史
- ② 2022年 3 月 19日(土) 春季研究大会(早稲田大学)
- ・シンポジウム:17.18 世紀のフランスの医学と哲学(仮)  
企画責任者: 香川知晶  
提題者: 谷川多佳子、寺嶋雅彦、山口裕之
- ③ 2022年 9 月 10日(土) 秋季研究大会(明治大学)
- ・シンポジウム:プルーストと哲学(者) プルースト没後 100 年の機会に(仮)  
企画責任者: 澤田直
- ④ 2021年 9 月 機関誌 27 号発行